

事業主体名	那覇市						
令和3年度（繰越）沖縄振興特定事業推進費（市町村）検証シート							
事業名	「古琉球」関連施設整備事業（首里城公園周辺地域）					担当部課名	市民文化部 文化財課
						認定市町村名	
広域性要件または先導性要件の該当有無	☒	広域性要件	現年事業または繰越事業	☐	現年事業	事業実施（予定）年度	令和元～4年度
	☐	先導性要件		☒	繰越事業		
事業内容	令和元年10月31日の首里城火災による建造物や収蔵品の焼失に伴い、首里城公園の来訪客が減少していること、首里城に代わる複数の集客施設への誘客や受け入れ態勢の整備など、広域的な取り組みを推進しなければ、来訪客の減少に歯止めがかからない恐れがあることから、首里城公園内の国指定史跡「円鑑池」の園路・石垣の整備や広域観光情報の発信等を行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（令和5年度）						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「補助金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R1年度（繰越）	R3年度	R3年度（繰越）	
	予算の状況	当初予算額	8,800	0	108,886	0	
		増減額	0	0	0	0	
		予算現額	8,800	0	108,886	0	
		前年度から繰越	0	8,800	0	108,886	
		翌年度へ繰越	8,800	0	108,886	0	
	計（A）		0	8,800	0	108,886	
	執行済額（B）		0	7,788	0	76,714	
	うち補助金充当額		0	6,230	0	61,371	
	不用額		0	1,012	0	32,172	
	執行率（％）（B/A）		0.0%	88.5%	0.0%	70.5%	
予算の状況の説明		令和4年度へ繰越していた円鑑池改修工事を行い、本事業を完了している。不用額については、入札残等実績に伴うものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	活動目標（指標）		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	4年度	年度
	実施設計件数：1件	目 標	1	0	0	0	
		実 績	0	1	0	0	
	改修工事件数：1件	目 標	0	0	1	0	
		実 績	0	0	0	1	
達成状況説明	令和4年度へ繰越していた円鑑池改修工事を行い、本事業を完了している。						
成果目標（指標）及び進捗状況	成果目標（指標）		基準値（平成29年度）	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 R5年度
	① 那覇市「古琉球」関連施設（首里城公園）を訪れた来訪客数平成29年度実績の5％増（H29年度実績：285万人）	目 標		－	－	－	299万人
		実 績	285万人	－	－	－	144万人
	成果目標（指標）		基準値（年度）	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 R5年度
	② ①を訪れた来訪客数のうち、浦添市「古琉球」関連施設への来訪客数割合：60％	目 標		－	－	－	60％
		実 績	－	－	－	－	44.2％
進捗状況説明	那覇市「古琉球」関連施設（首里城公園）の来訪客数及び那覇市「古琉球」関連施設（首里城公園）を訪れた来訪客数のうち、浦添市「古琉球」関連施設への来訪客数の割合、共に目標値を下回っている状況である。						

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	令和元年10月31日の首里城火災、その後の新型コロナウイルスの影響により、沖縄への観光客数が大幅に減少したことから、首里城公園を訪れる観光客が必然的に減少したため、成果目標に掲げた首里城公園来訪客数が大幅に減る結果となった。また、浦添市「古琉球」関連施設への来訪客数割合についても、周知手法の不足により目標値を達成することができなかった。	新型コロナウイルスが「5類」へ移行したことに伴い、沖縄県への観光客数が徐々に回復している状況であるため、今後首里城公園への来訪客数は増加すると考えられる。また、那覇市及び浦添市との「古琉球」関連施設への来訪客数を増やすための活用方法については、首里城公園全体で取り組む必要があることから、沖縄県をはじめとする関係機関と連携し、「古琉球」を周遊する周知手法について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
「古琉球」関連施設の来訪客数及び浦添市との「古琉球」関連施設を周遊する来訪客数割合を増やすため、相互に「古琉球」関連施設のポスター・パンフレット等の情報資料を提供することで、「古琉球」周遊客数の増加を図る。また、令和6年度以降の事業成果の検証に基づいて、より効果的な周遊客の集客を検討する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>補助対象事業費</th><th>補助金</th><th>市町村（民間）</th><th>補助対象外経費</th></tr><tr><td>76,714</td><td>76,714</td><td>61,371</td><td>15,343</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	補助対象事業費	補助金	市町村（民間）	補助対象外経費	76,714	76,714	61,371	15,343	0
総事業費	補助対象事業費	補助金	市町村（民間）	補助対象外経費										
76,714	76,714	61,371	15,343	0										
令和4年度（R3繰） 那覇市 76,714千円 工事費 76,714千円 琉球通信工事(株) 76,714千円 円鑑池改修工事														

資金の用途の流 点検・評価目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託・工事業者は一般競争入力で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	委託業務・工事費については、各積算基準及び三者見積により設計書を作成しているため適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。